



日本ラッド株式会社



# 日本ラッド株式会社 企業プレゼン資料

September 6, 2007

<http://www.nippon-rad.co.jp/>

## 目次

1. 会社説明

2. 事業説明

3. 2008年3月期第1四半期業績

4. 今後の事業展開

5. 補足資料

# 1. 会社説明

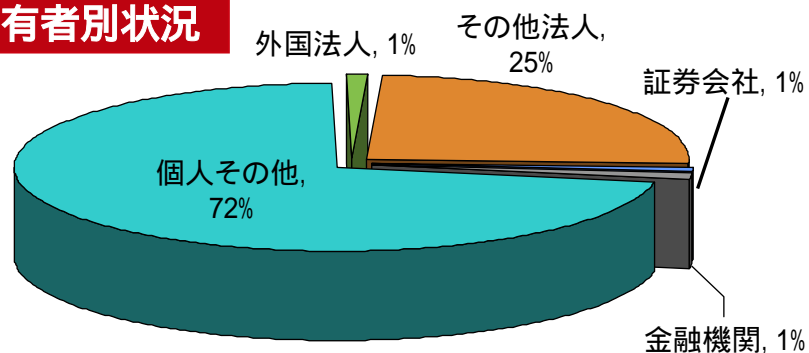
## 会社説明 【会社概要】

<b>設立</b>	1971年6月7日
<b>上場</b>	1999年11月9日 (JASDAQ 4736)
<b>事業内容</b>	システム設計・開発 パッケージソリューション開発・販売
<b>代表者</b>	代表取締役社長 大和 喜一
<b>決算期</b>	3月
<b>資本金</b>	7億7,283万円
<b>発行株式数</b>	4,505,390株
<b>従業員数</b>	304名(2007年3月31日現在)
<b>事業所一覧</b>	本社(東京都新宿区)、千葉、大阪、名古屋、浜松、金沢、松本

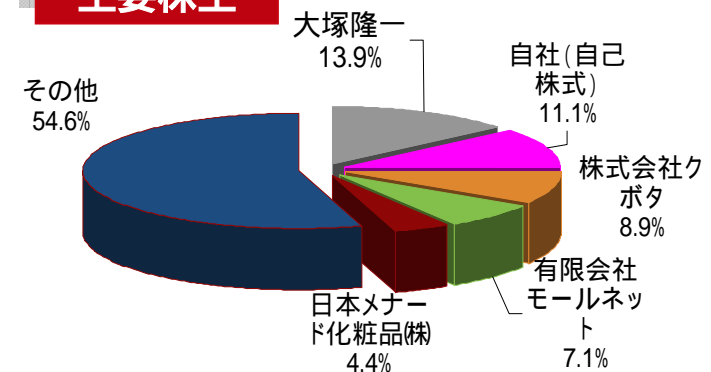


本社外観

### 株式所有者別状況



### 主要株主



## 会社説明 【関係会社の状況】

(単位:百万円)

日本ラッド連結 (07/3期)	
売上高	4,482
営業利益	195

日本ラッド	
売上高	3,860
営業利益	206
事業内容	ソフトウェア開発事業

持分法適用会社		
(株)シアターテレビジョン	システムニーズ(株)	(株)トランネット
516	115	125
20	49	3
28.8%	20.7%	20.2%
今井 美和	中山 恵介	高野 雅博
舞台専門放送事業	セキュリティシステム開発	翻訳者選定電子オーディション・翻訳受託
12月31日	3月31日	1月31日
73	219	82

連結子会社			
社名	日本ラッド情報サービス(株)	モバイルリンク(株)	インサイトインターナショナル(株)
売上高	529	169	166
営業利益	34	4	15
持株比率	88.6%	100.0%	58.3%
代表者	大塚 隆一	市川 純司	大和 喜一
事業内容	ASP・iDC・人材派遣・時刻認証	モバイル関連システム開発・販売	PC周辺機器向けソフト
決算月	3月31日	3月31日	3月31日
資本金	121	40	30

# 会社説明 [グループ事業説明]

## System Integration

本体:トータルITソリューション提供

**日本ラッド**

ソフトウェア開発事業  
プロダクツ事業

営業部門

ソリューション  
プロバイダ部門

## Technology

子会社・関連会社:重要な事業ドメインに集中

日本ラッド情報サービス株式会社

ASP・IDC・人材派遣・時刻認証事業

モバイルリンク株式会社

モバイル関連システム開発・販売

インサイトインターナショナル株式会社

PC周辺機器向けソフトウェア開発

株式会社シアターテレビジョン

舞台専門放送事業

システムニーズ株式会社

セキュリティシステム開発

株式会社トランネット

翻訳者選定電子オーディション・翻訳受託

Clients

## 2. 事業説明

## 事業説明 【2つの主要事業】

ITの最先端技術で、

お客様のご要望をかなえる企業です

### ソフトウェア開発事業

(通信・制御系、汎用・ミドル系、業務アプリケーション系、ハード・ファーム系)

首都圏での大手顧客取引と地方での安定した顧客基盤を背景に、中核事業として安定成長を続けています



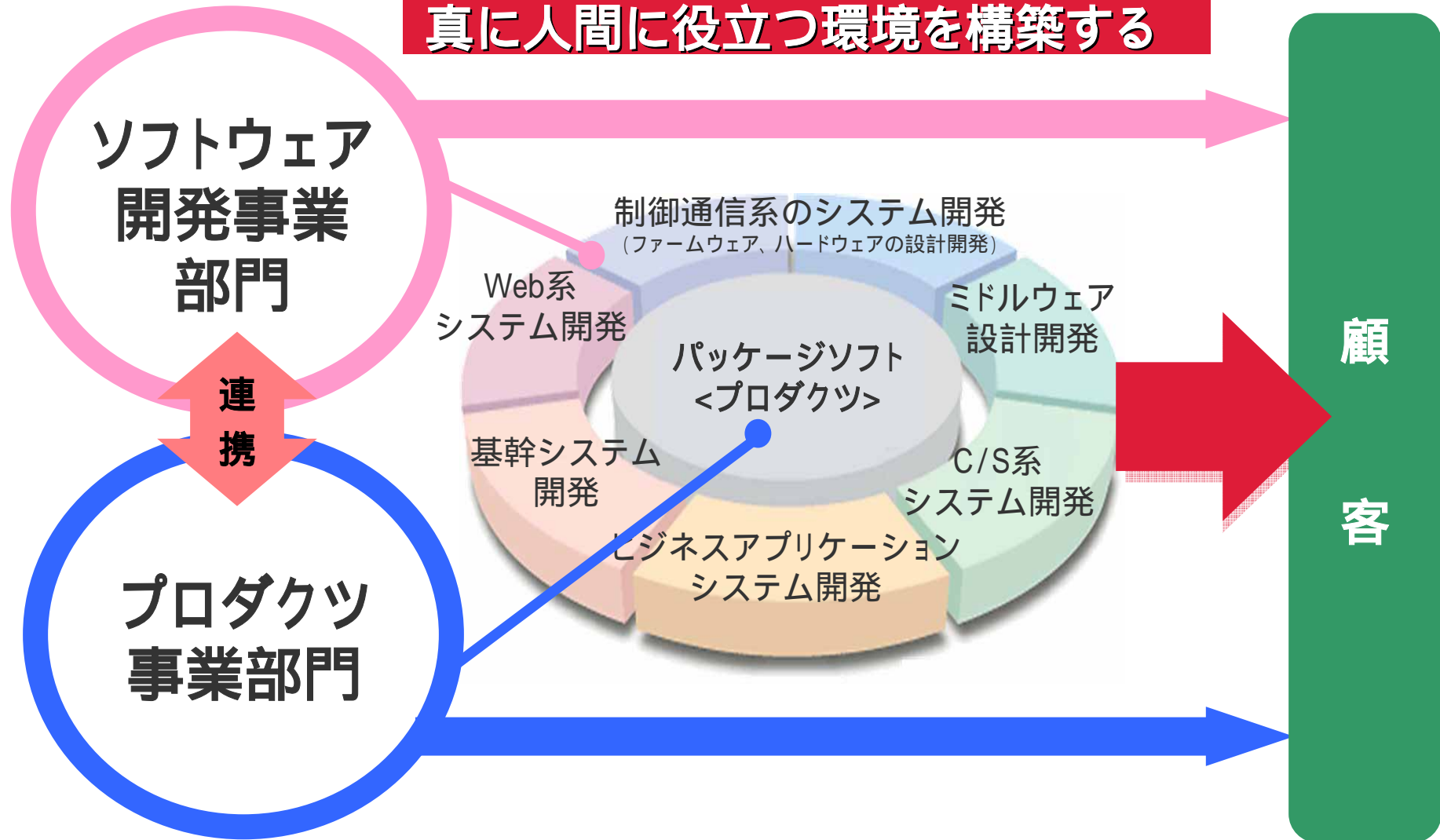
### プロダクツ事業

自社開発プロダクツの販売、海外の優れたソフトウェア開発企業製プロダクツの提携販売、それぞれにより近年高い売上の伸びをみせています



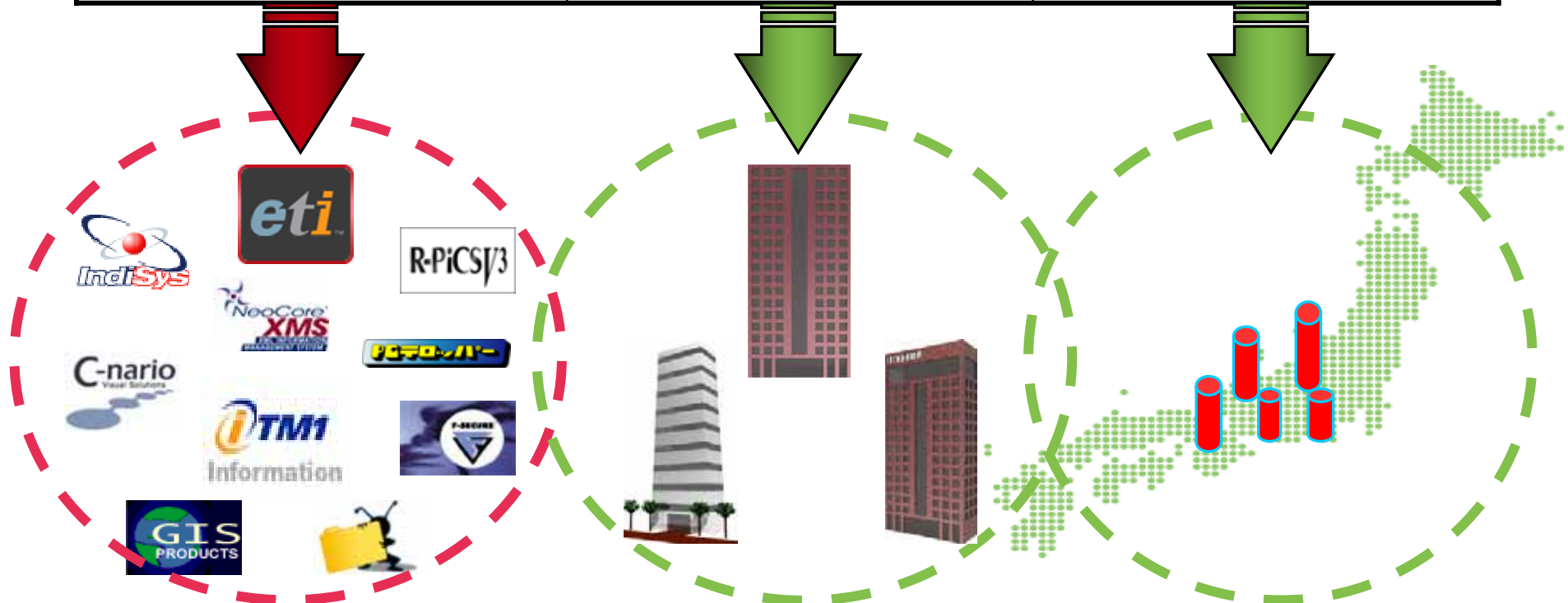
## 事業説明 【基本戦略】

真に人間に役立つ環境を構築する



# 事業説明 【事業基盤】

第一事業本部	第二事業本部	第三事業本部
<b>プロダクツ事業</b>	<b>ソフトウェア受託開発事業(首都圏)</b>	<b>ソフトウェア受託開発事業(地方)</b>
ユニークな自社開発製品と海外企業の優れた製品の販売	<ul style="list-style-type: none"> <li>・大手企業との取引</li> <li>・幅広い業種での展開</li> <li>・偏りのない売上構成</li> </ul>	実質固定客化した地方での優良顧客基盤



# 事業説明 【グループ事業構成】

## 07年3月期連結売上高と事業内容

### プロダクツ・販売事業 (第一事業本部)

海外のソフトウェアを日本市場向けに育成した業務用パッケージソリューション(例:TM1)  
自社のインフラ系パッケージソリューション(例: デマンド交通システム)  
映像系ソリューションシステム(例: マルチスクリーンシステム)



### ソフトウェア事業 (首都圏:第二事業本部)

コンピュータシステム構築に関連するあらゆる分野への事業展開。  
基幹システムに特化した大規模システム

Web系のシステム  
C/S系のシステム  
制御通信系のシステム  
(ファームウェア設計、ハードウェアの設計)  
ビジネスアプリケーションシステム

### 子会社

IDC・ASP・人材派遣  
モバイル関連商品  
USB、セキュリティ関連商品  
(PC、携帯等)

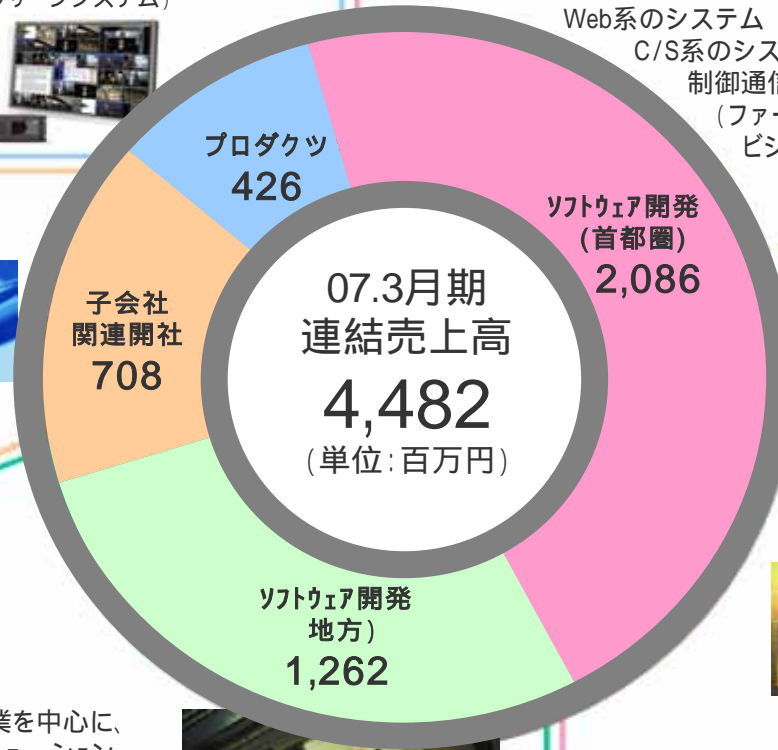


### ソフトウェア事業

(地方:第三事業本部)

主に地域に密着したシステム提案。地元企業を中心に、  
製造・営業等の企業活動における最適なソリューション  
を提供

(例: 浜松技術センター: 主に工場の制御系システム等)



WEB系システム(オンラインショッピングサイト等)



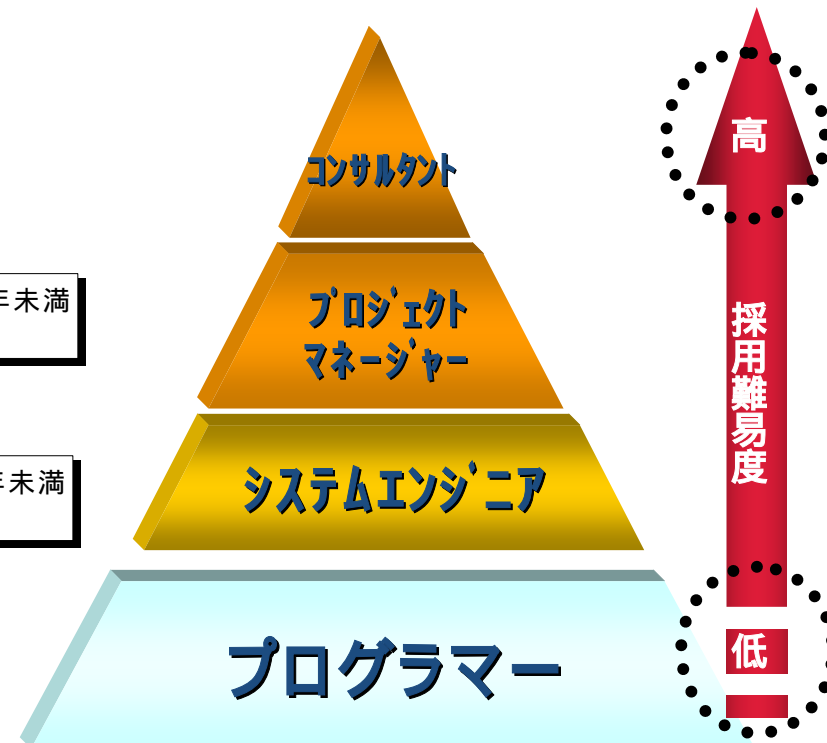
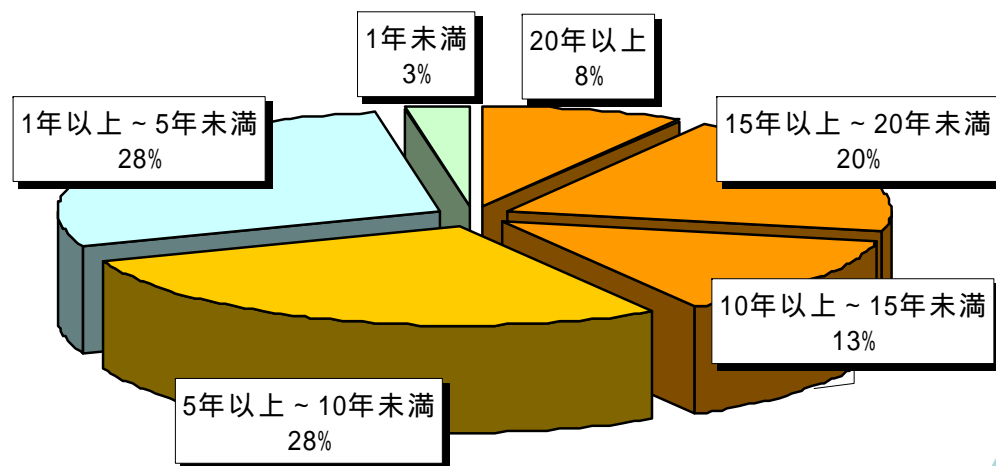
ビジネスアプリケーションシステム  
(ホテル向け自動精算機・花卉オークションシステム等)

## 事業説明 【人材】

お客様に信頼される技術力を支える人材

「ハイレベルな技術者」と「恒常的な最先端技術」の保持

### 勤続年数別分布



## 事業説明 【プロダクツ事業 / 製品紹介: TM1】

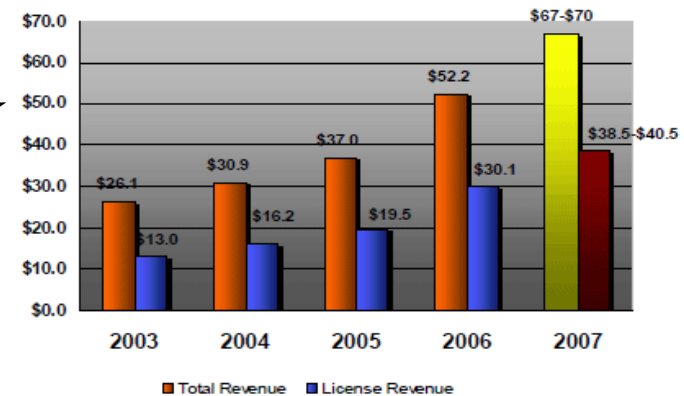


オンライン分析エンジン「TM1」は業界最速のビジネスインテリジェンス・ツール  
高速レスポンスとリアルタイム分析を実現

<p><b>全世界での利用実績</b></p>	<p>全世界2500社以上の企業が、「Fortune」が選ぶ米企業トップ100社の30%以上が採用</p>	<p>TM1ワールドワイドユーザ</p>
<p><b>最短の所要時間</b></p>	<p>89%のユーザーが導入6ヶ月以内に実運用開始を実現</p>	
<p><b>最高の顧客満足度</b></p>	<p>ビジネス目標達成率にて高い評価を得ました (OLAP Survey5調査)</p>	
<p><b>最速のパフォーマンス</b></p>	<p>同種製品中、最も高速なロード/演算スピード (OLAP Survey5調査)</p>	

今期から開発元「米国アプリクス社」からの販売支援

TM1を主力に売上増を続けるApplix社(米)

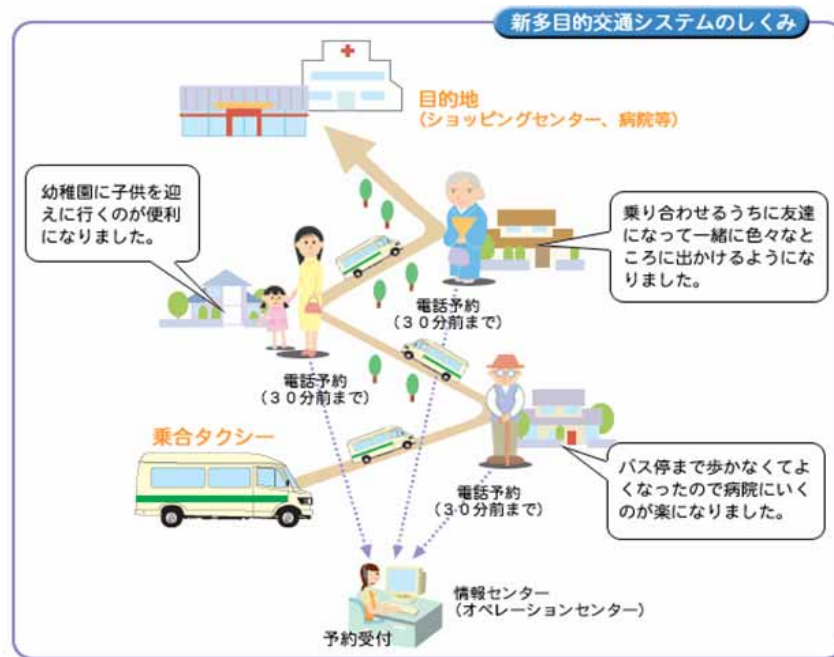




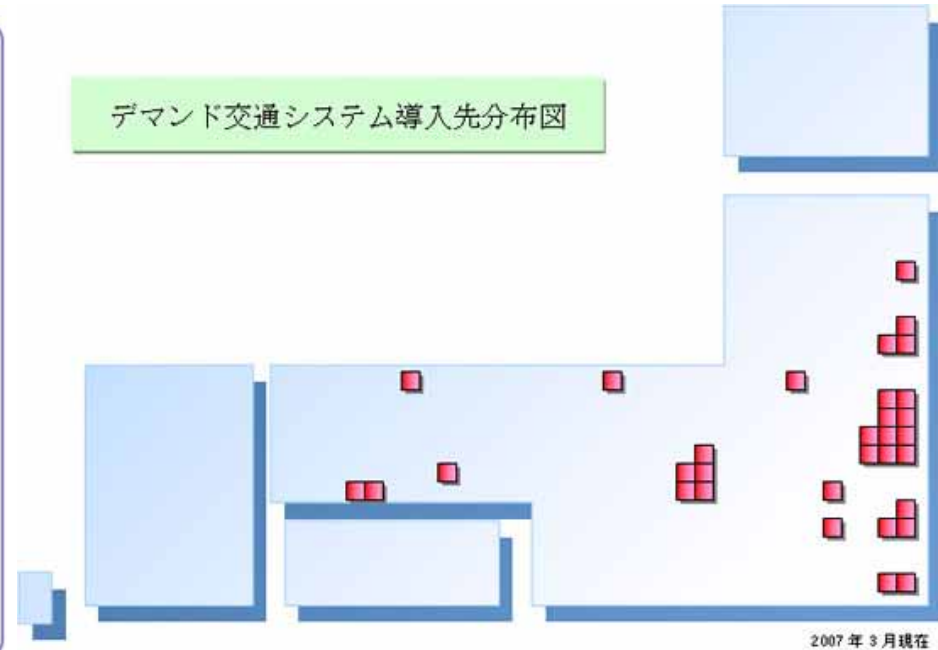
## 事業説明【プロダクツ事業 / 製品紹介: デマンド交通システム】

高い利便性、低コスト・低料金を実現する  
公共交通サービス

既に全国で32市町村が導入、地域の活性化や  
財政支出削減に寄与



デマンド交通システム導入先分布図



### 導入事例

#### 福島県小高町(現 南相馬市)での導入後の効果

- 高齢者の外出機会増加 - 固定ルートの路線バスなどと異なり、自宅など登録した地点から目的地までタクシー感覚で利用可能
- 道路混雑の削減 - 予約・配車をシステムが一元管理、空車で走ったり、回り道をすることなく、また道路混雑の平準化にも貢献
- 財政支出の削減 - 福祉バス2台の年間経費は約2,500万円、デマンド交通システムは840万円
- 地域の活性化 - 利用状況 降車1位「医療機関へ55.7%」2位「商店へ11.3%」、乗車1位「商店から37.6%」

## 事業説明【プロダクツ事業 / 製品紹介:映像ソリューション】

### 監視センター業務

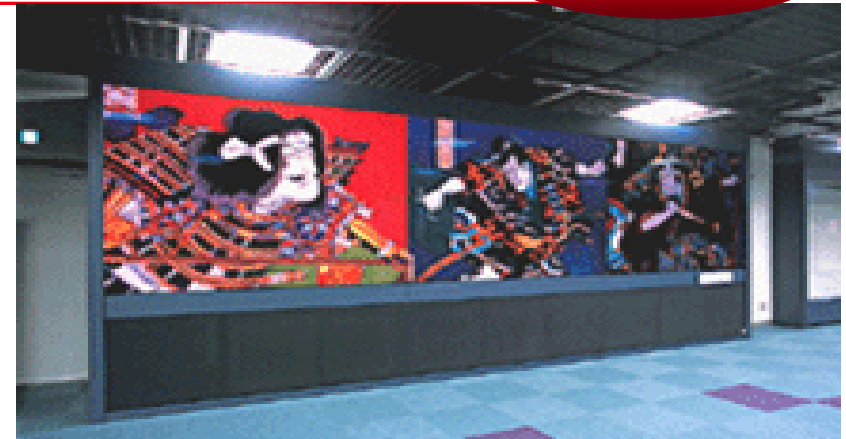
高い信頼性を必要とする交通、110番、防災等のセンター業務向け大型表示システム



県水道施設監視センター、県庁防災指令センター、県警通信指令センター、ネットワーク監視センター、河川監視センター)

電子掲示板、国際会議システム向け大型表示板

### 文教施設



国立劇場、青山学院大学、国際TV会議室

### 情報・イベント

ショールーム、店舗、アミューズメント施設等向け、業界最高水準の映像表現でサービス構築を支援



金沢市、JR金沢駅東広場公共インフォメーションシステム

ニュース・CMの送出、番組制作、放送番組監視等でクリアなタイムラグのない映像表示を提供

### 放送局



読賣テレビ放送、仙台放送

# 事業説明 【ソフトウェア開発事業 / 開発事例】

## ソフトウェア受託開発事例

### 業務アプリケーション

e-ビジネスソリューション	公共	図書関連検索システム
	流通サービス	ホームセンター向け電子商談システム、翻訳オークションシステム、商社向けEDIシステム
	金融	銀行向けインターネットバンキング
	小売業	コンシューマ向けショッピングサイト
クライアント/サーバビジネスソリューション	流通サービス	上下水道検診ASPシステムダウンサイジング構築 大手人材派遣トータルシステム
	公共	地籍管理システム、シルバー人材センター向統合システム
	金融	損害保険各種計算ルーチン開発
	通信・運輸	運送会社向け販売管理システム
ERPビジネスソリューション	製造業	SAP R/3の導入(SD、MM)、BPCS(生産管理)の導入
	流通サービス	SAP R/3の導入(FI、CO、SD、MM、HR) Oracle Applications(販売管理)
	通信・運輸	SAP R/3の導入(FI、CO)
ホスト系ビジネスソリューション	製造業	電機メーカー向け生産管理システム
	公共	地方自治体向け介護保険システム
	金融	損害保険会社向け総合システム
	通信・運輸	通信業向け課金・請求システム
データウェアハウス・OLAPビジネスソリューション	流通	TM1を用いた中古車オークションシステム
	小売業	財務分析、連結決算 ダッシュボード等財務会計レポートシステム
CRMビジネスソリューション	製造業	製造メーカー向けコールセンターにおけるCRMシステムの開発
	金融	大規模コールセンターにおけるCRMシステムの開発
	流通	通信販売会社向けコールセンターCRMシステムの開発

### 制御アプリケーション

GISソリューション	流通サービス	デマンドタクシーシステム、gコンテンツポータルサイト
	公共	地方自治体向けパスロケーション管理システム、G-XMLシステム開発(GIS)
	通信・運輸	運行管理システム、動体把握システム
通信制御ソリューション	製造業	自動改札機ファームウェア開発、交換機ファームウェア開発、FAX用ファームウェア開発
	公共	新都市交通システム情報提供大型マルチスクリーン制御、110番指令大型マルチスクリーン制御
	通信・運輸	プロトコルコンバータファームウェア開発
モバイル端末ソリューション	製造業	カーナビゲーション各種ファームウェア開発
	流通	倉庫管理用バーコード読み取り端末制御
	通信・運輸	携帯電話用各種ファームウェア開発
ミドルウェアソリューション	通信・運輸	C++移植支援チェッカ・静的解析ツール開発
ハードウェアソリューション	製造業	監視、警報システムに関するインターフェース開発、疑似マイコン作成、交換機ラインカード故障解析
	サービス	遊戯機器のデータ収集システム

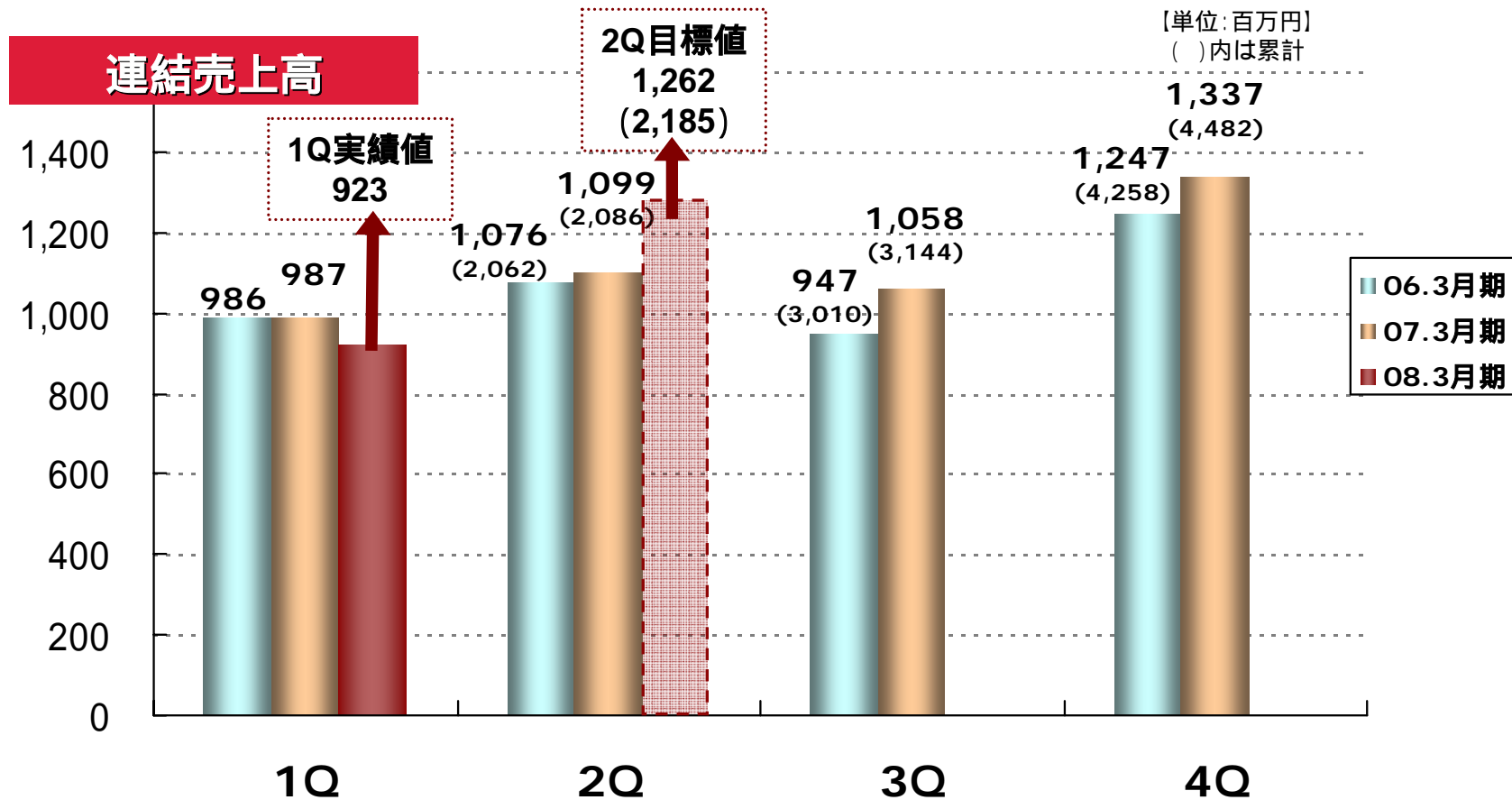


### 3 . 2008年3月期第1四半期業績

## 2008年3月期第1四半期実績 【連結売上高】

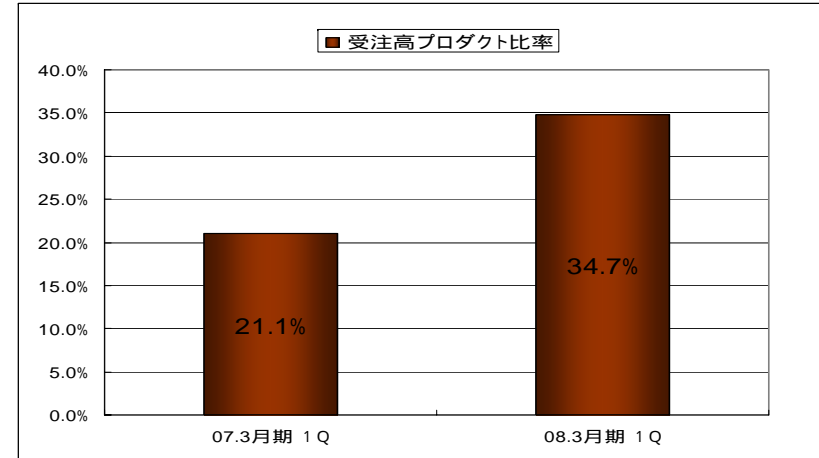
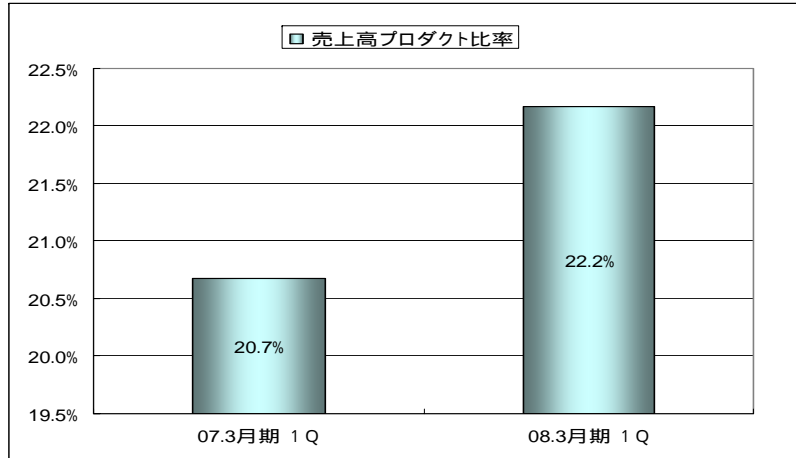
**売上高 9億23百万円** (前年同期比 6.4%減)

1Qに計上予定の売上が、2Q以降にずれこむ  
仕掛金1億26百万円(対前年同期 65百万円増)

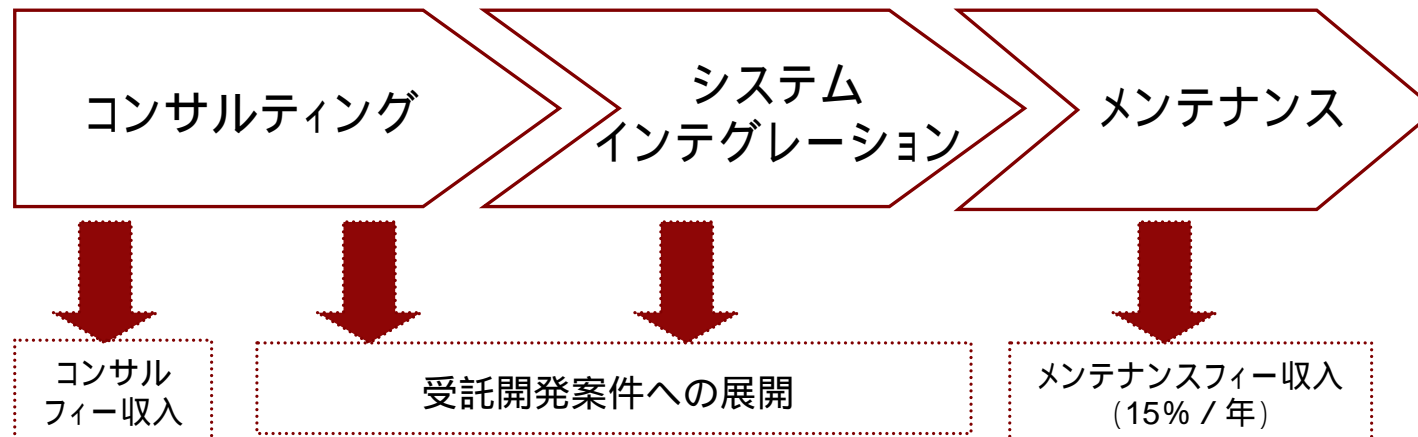


# 2008年3月期第1四半期実績 【連結セグメント別】

## プロダクツ売上比率拡大への取り組みの進捗



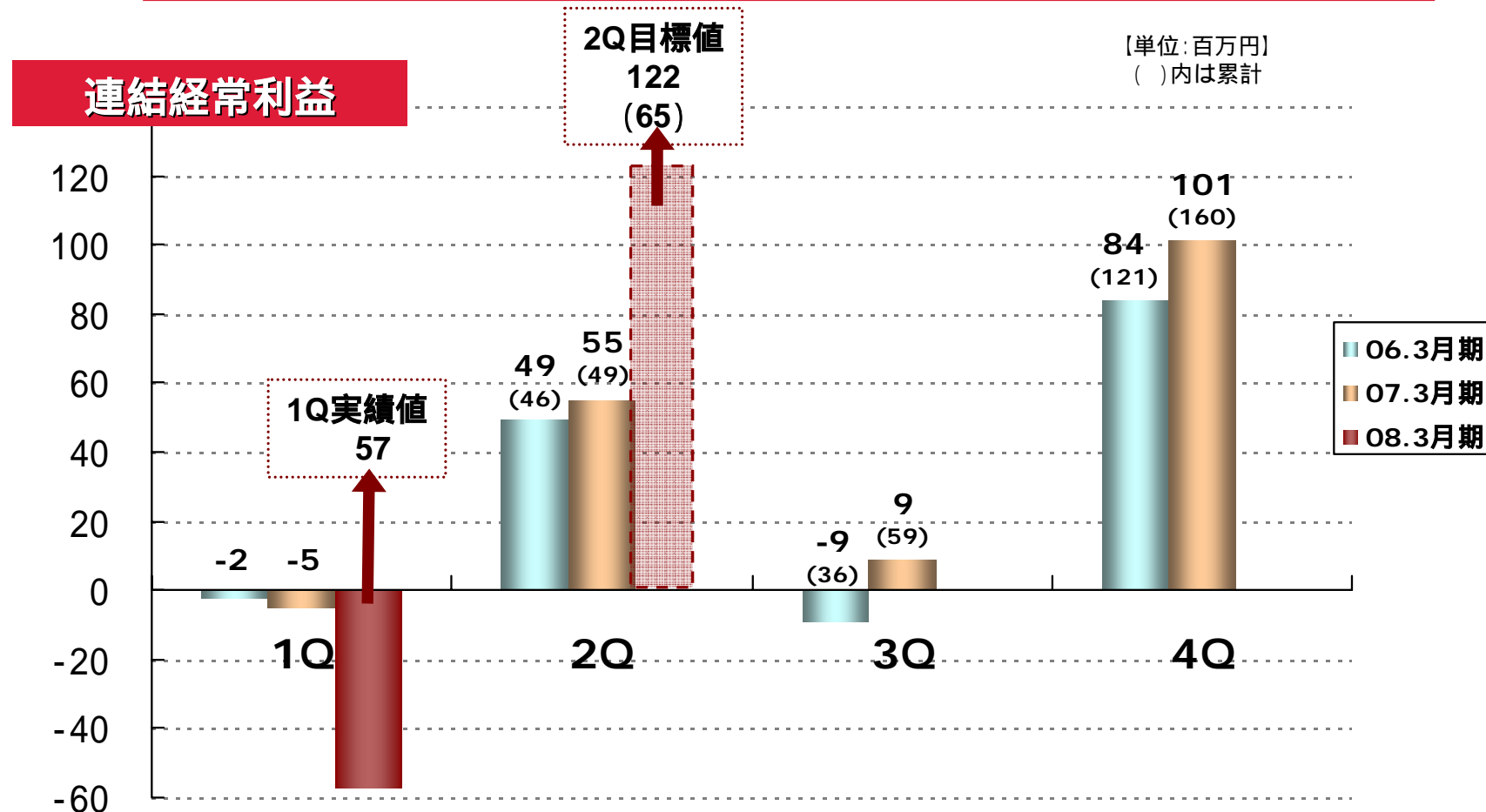
## 高収益プロダクツ事業のビジネスモデル



## 2008年3月期第1四半期実績 【連結経常利益】

### 経常利益 57百万円

受注損失引当金 52百万円(対前年同期 49百万円増)により、売上高原価率向上。対象プロジェクトへの迅速な対処により、中間期および通期の計画値達成を目指す。



## 2008年3月期第1四半期実績 【連結損益計算書】

1Q時点での主なマイナス要因は、売上のずれ込みと受注損失引当金の計上。2Q以降はこれらマイナス要因を解消し、計画値をカバー。

**P/L**

単位:千円

単位:百万円

	07.3期 第一四半期実績 (06.4 ~ 06.6)	08.3期 第一四半期実績 (07.4 ~ 07.6)	対前年同期		
	実績	実績	増減額	増減率	
売上高	987,050	923,529	63,520	6.4%	↓
売上原価	797,241	783,066	14,175	1.8%	↓
販管費	189,294	192,888	3,593	1.9%	↑
営業利益	513	52,424	52,938		↓
営業外損益	6,072	5,151	921		↑
経常利益	5,559	57,576	52,016		↓
特別損益	18,784	40,044	58,828		↓
税金費用等	5,716	38,600	50,774		
(当期)純利益	3,877	56,193	60,070		↓

2007.5.18 発表	08.3期 中間期予測	08.3期 通期予測
売上高	2,185	4,770
営業利益	77	285
経常利益	65	275
(当期)純利益	15	130

日本ラッド:前年同期比76百万円減  
モバイルリンク:前年同期比22百万円増

受注損失引当金:52百万円  
(対前年同期 49百万円増)

退職給付金費用:44百万円

# 2008年3月期第1四半期実績 [連結貸借対照表/キャッシュフロー]

## 貸借対照表

### B/S

	07.3期末	08.3期 第1四半期末	増減額	
			構成比増減	
流動資産	2,946 <small>【構成比: 73.7%】</small>	2,857 <small>【構成比: 72.3%】</small>	89	1.4P ↓
固定資産	1,052 <small>【構成比: 26.3%】</small>	1,094 <small>【構成比: 27.7%】</small>	42	1.4P ↑
資産合計	3,998	3,951	47	
流動負債	1,037 <small>【構成比: 25.9%】</small>	1,015 <small>【構成比: 25.7%】</small>	22	0.2P ↓
固定負債	1,051 <small>【構成比: 26.3%】</small>	1,109 <small>【構成比: 28.1%】</small>	58	1.8P ↑
純資産	1,909 <small>【構成比: 47.8%】</small>	1,827 <small>【構成比: 46.2%】</small>	82	1.5P ↓
負債・純資産合計	3,998	3,951	47	

## キャッシュフロー計算書

### CF

	07.3期 第1四半期末	08.3期 第1四半期末	対前年比 差額	
営業活動	5	116	121	↑
投資活動	97	30	67	↑
財務活動	25	66	41	↓
現金同等物に係る 換算差額	0	0	0	↑
現金及び現金同等物 の増減額	129	19	148	↑
現金及び現金同等物 の期首残高	1,753	1,720		
現金及び現金同等物 の期末残高	1,623	1,747		

## 4. 今後の事業展開

## 今後の事業展開 【外部環境(1)】

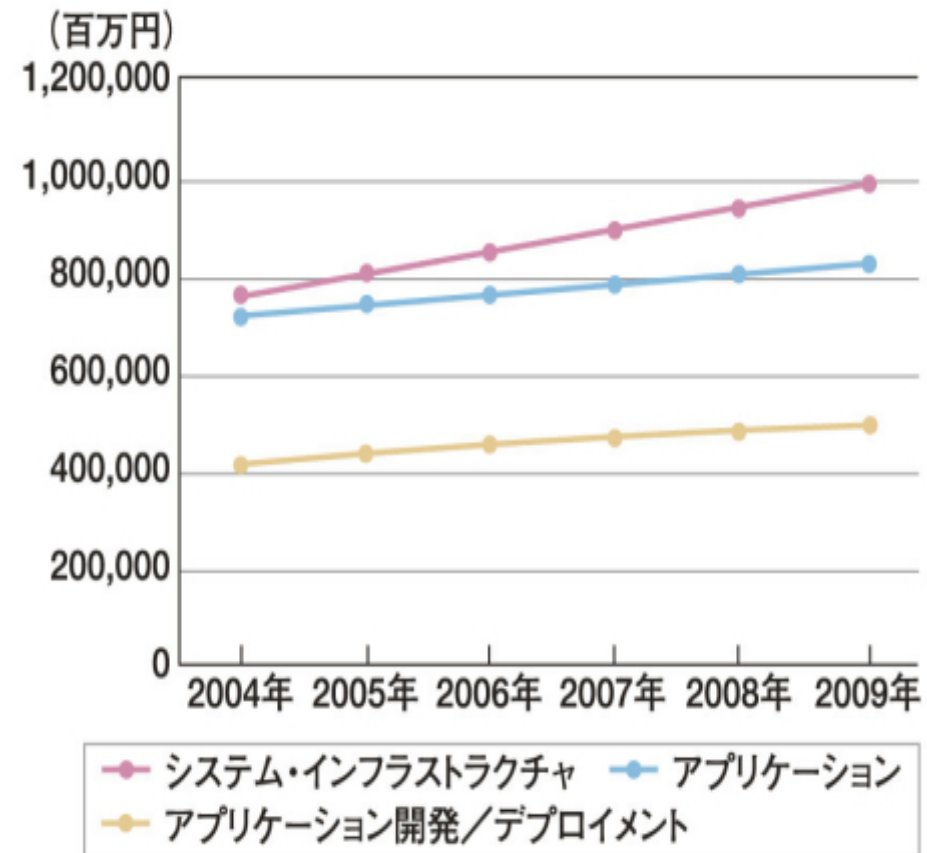
### 国内ソフトウェア市場規模予測

年間3.9%の平均成長率で成長し、2009年の市場規模は2兆3,099億円に達する見込み

2006年度にIT予算を増額させた企業は過半数超えの52%に上り、この傾向は2007年度も継続の見込み。

2007年にIT投資で解決したい中長期的な経営課題としては、「業務プロセス変革」(27%)、「経営トップによる迅速な業績把握、情報把握」(20%)に続き、3位には2006年8位の「経営の透明性の確保(内部統制、システム監査への対応など)」(14%)があげられている。

\* 出展「企業IT動向調査」(日本情報システム・ユーザー協会)



\* 資料: IDC Japan



## 今後の事業展開 【外部環境(2)】

### マーケットの拡大

#### 自治体や企業の統合

- さまざまな異種システム環境を安全に有効に接続させる必要性増大により、接続システムの需要が拡大

#### 法制度の整備による企業の管理強化

- 日本版SOX法などの法制度の整備により、各企業において、従来以上に文書管理の徹底、及び効率的な運用が必要とされる。

#### デジタル化、携帯電話・端末、Web2.0 等IT技術の革新

- あらゆる分野でのさまざまな技術革新に対応し得るIT先端技術の需要拡大。

## 今後の事業展開 【企業価値拡大戦略】

1

### 高付加価値プロダクトを 中核とした営業戦略

ETI Solutionを中核とした営業、および受注体制の構築  
金融、通信分野を最注力分野と位置づけた営業展開  
競争優位な差別化ソリューションのさらなる創出と領域の拡大

2

### コアビジネス(ソフトウェア 受託開発)強化

プロジェクトマネジメントの強化  
生産性向上  
顧客層の拡大

3

### 社会的評価の向上

顧客満足度向上  
IR活動の活性化  
内部統制の強化

業績の向上

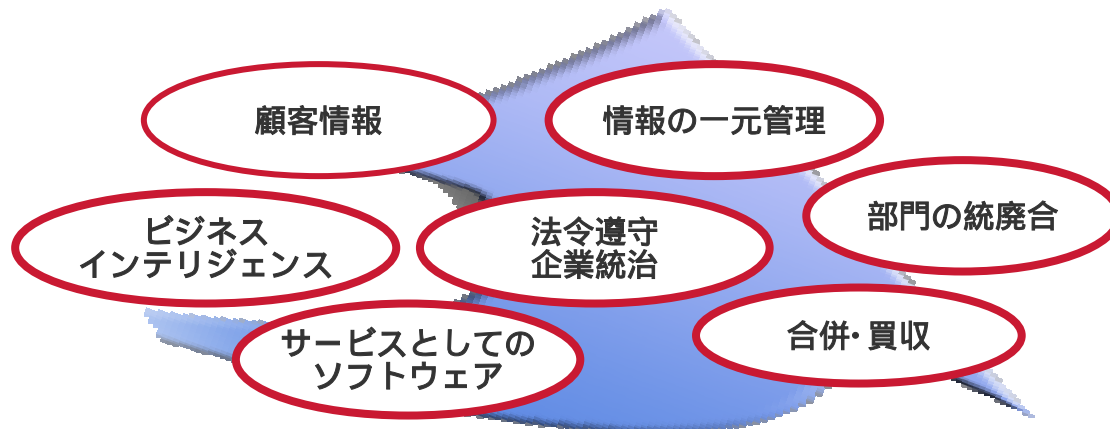
企業価値の  
最大化

# 今後の事業展開 【販売強化製品：ETI-Solution】



散在する情報を資産化し、新たな価値を生み出す次世代  
データ統合ツール

<b>汎用性</b>	データベースの新旧・多寡に関わりなく、既存IT環境に制約されることなく導入可能	政府関係	医療	製造・販売	通信	金融・保険
<b>超短期納期</b>	機能別モジュールの組上げにより提供→ハンドコーディング不要→バグの発生抑制・コスト大幅削減・短期納入					
<b>機能を網羅</b>	さまざまな機能を網羅的に、または必要な機能だけを部分的に → 非常に効率的					
<b>信頼度の証明</b>	ホライゾン(医療)、モトローラ(通信機器)、トヨタ(自動車)、ボーイング(航空機)、テレフォニカ(通信)、フリートバンク(銀行)、アクサ(保険)、ほか多数のビッグネーム、米国防総省、国家安全局等の公的機関が利用					



- 利益の拡大
- コストの削減
- 法令等への対応
- 将来の予測

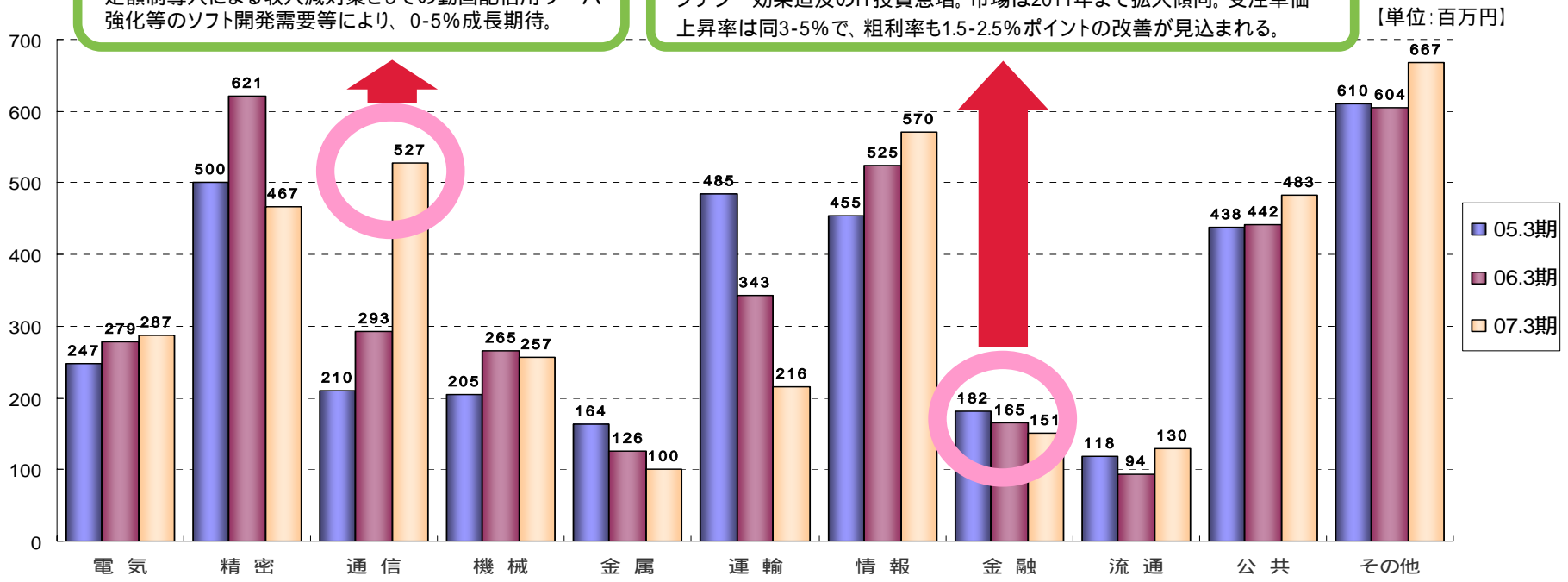
# 今後の事業展開 【注力分野】

## 注力分野の明確化

プロダクトの特性と市場の成長性に基づき、注力する対象分野を明確化。(データ統合ニーズが存在し、中期的成長が見込まれる金融、通信分野へETI Solutionを核とした営業展開を推進)

**【通信】**  
MNP用の顧客・番号管理システム投資や、携帯キャリアの定額制導入による収入減対策としての動画配信サーバ強化等のソフト開発需要等により、0-5%成長期待。

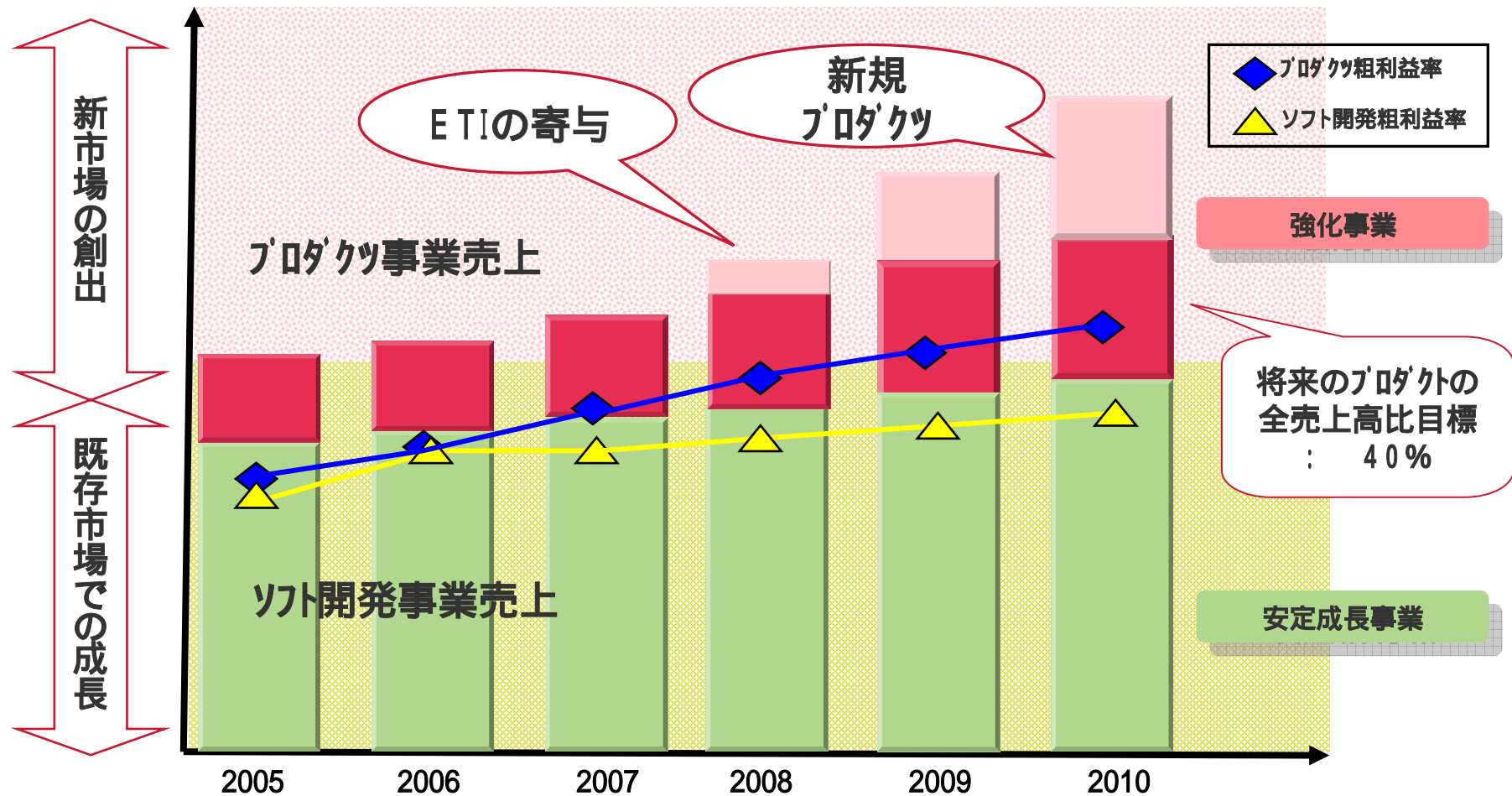
**【金融】**  
業界環境好転と公的資金完済から、積極投資の姿勢。グループ再編等でシナジー効果追及のIT投資急増。市場は2011年まで拡大傾向。受注単価上昇率は同3-5%で、粗利率も1.5-2.5%ポイントの改善が見込まれる。



05.3期～08.3期 顧客の業界別構成(単体)

# 今後の事業展開 [連結セグメント別売上高推移イメージ]

## ソフト開発事業vsプロダクツ事業 売上高と粗利益率の今後のイメージ



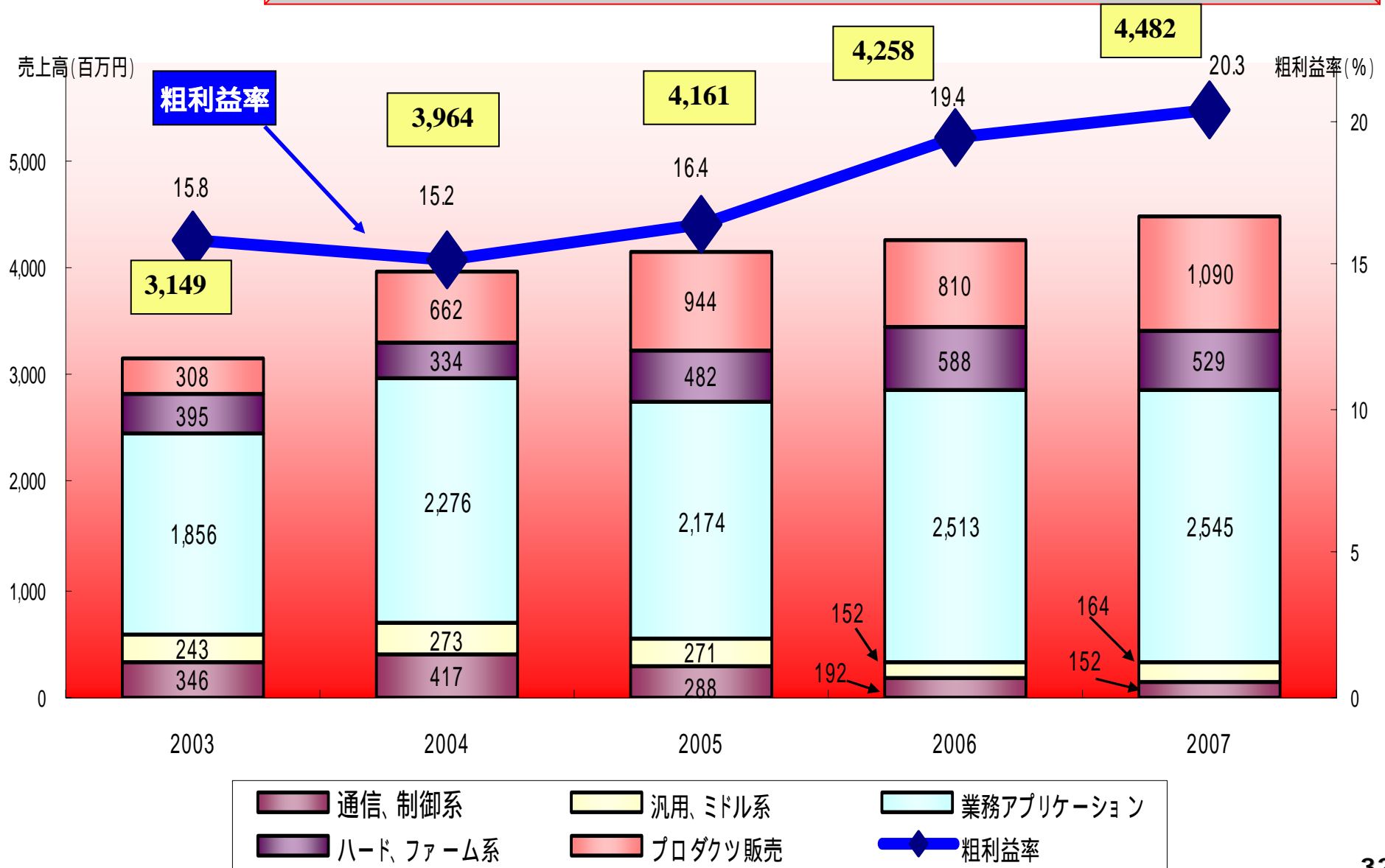
## 5. 補足資料



## 業績推移 【連結損益実績】

単位:百万円 (切り捨て)	2004/3期 実績	構成比 (%)	2005/3期 実績	構成比 (%)	2006/3期 実績	構成比 (%)	2007/3期 実績	構成比 (%)
売上高	3,964	100.0%	4,161	100.0%	4,258	100.0%	4,482	100.0%
売上原価	3,364	84.8%	3,481	83.6%	3,430	80.6%	3,573	79.7%
売上総利益	601	15.2%	681	16.4%	828	19.4%	909	20.3%
販売管理費	487	12.3%	602	14.5%	696	16.3%	713	15.9%
営業利益	113	2.9%	79	1.9%	131	3.1%	196	4.4%
営業外損益	25	- %	43	- %	10	- %	35	- %
経常利益	88	2.2%	36	0.9%	121	2.9%	161	3.6%
特別損益	81	- %	277	- %	46	1.1%	41	0.9%
税金等調整前当期純利益	7	0.2%	241	- %	167	3.9%	202	4.5%
法人税・住民税及び事業税 法人税等調整額	26	0.7%	32	0.7%	15	- %	134	3.0%
当期純利益	13	-0.3%	272	-6.5%	181	4.2%	71	1.6%

# 業績推移 [連結セグメント別売上高と粗利益率]

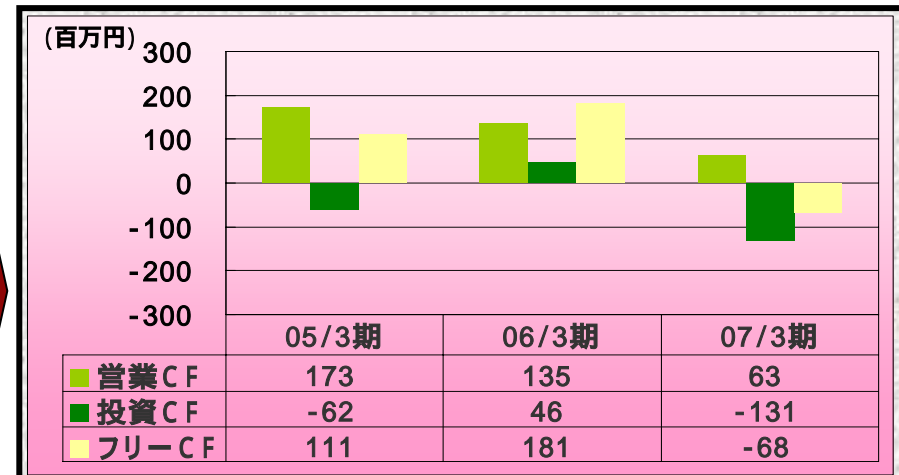




## 業績推移 【連結貸借対照表とキャッシュフロー計算書】

単位:百万円	06/3期	07/3期	増減額	単位:百万円	06/3期	07/3期	増減額
<b>流動資産</b>	2,871	2,946	75	<b>流動負債</b>	656	1,037	381
現金及び預金	1,753	1,721	32	買掛金	244	325	81
受取手形・売掛金	898	984	86	短期借入金	75	100	25
たな卸資産	80	80	0	一年内償還社債	-	300	0
繰延税金資産	88	48	40	未払法人税等	12	53	41
<b>固定資産</b>	1,016	1,052	36	賞与引当金	116	90	2
有形固定資産	531	525	6	<b>固定負債</b>	1,354	1,052	302
無形固定資産	20	78	58	社債	900	600	300
投資その他の資産	464	450	14	<b>純資産(資本)</b>	1,826	1,910	84
<b>資産合計</b>	3,887	3,999	112	<b>負債及び純資産合計</b>	3,887	3,999	112

【CF計算書】(単位:百万円)	05/3期	06/3期	07/3期
営業活動によるキャッシュ・フロー	173	135	63
投資活動によるキャッシュ・フロー	62	46	131
財務活動によるキャッシュ・フロー	396	252	36
現金及び現金同等物の増減額	507	69	32
現金及び現金同等物の期首残高	1,315	1,822	1,753
<b>現金・現金同等物の期末残高</b>	1,822	1,753	1,721



## 業績推移 【主要財務指標：連結】

	05 / 3期	16 / 3期	07 / 3期
総資産当期純利益率【ROA】 (%)	0.1	4.65	1.79
株主資本当期純利益率【ROE】 (%)	14.68	9.91	3.76
一株当たり当期純利益 (円)	61.53	38.67	17.82
一株当たり株主資本 (円)	418.41	450.83	465.88
従業員1人当たり売上高 (千円)	13,964	13,869	14,648
従業員1人当たり当期純利益 (千円)	913	589	234
従業員数 (人)	298	307	304
総資本回転率 (回)	1.03	1.10	1.12
株主資本回転率 (回)	2.25	2.33	2.35
固定資産回転率 (回)	3.87	4.19	4.26
株主資本比率 (%)	45.9	47.0	47.8
流動比率 (%)	358.4	437.4	284.1
固定比率 (%)	58.1	55.6	55.1
PER (倍)	-	12.93	24.81
PBR (倍)	0.82	1.10	0.95



日本ラッド株式会社



お問い合わせ先:

経営企画室 TEL:03-5919-3002

<http://www.nippon-rad.co.jp/>

本資料は、企業説明に関する情報の提供を目的としたものであり、当社が発行する有価証券の投資を勧誘することを目的としたものではありません。又、本資料は2007年6月末日現在のデータに基づいて作成しております。本資料に記載された意見や予測等は、資料作成時点での当社の判断であり、その情報の正確性・完全性を保証し又は約束するものではなく、また今後予告なしに変更することがあります。